

在宅サポートセンター生田主催による 10、11、12 月のセミナー開催の詳細が決定しました。10 月は三好春樹さんによる介護基礎講座、11 月は金田センター長による「ボケと認知症ケアの傾向と対策」、12 月は言語聴覚士の遠藤尚志さんによる「失語症とことん勉強会」が開催されます。いずれも、介護職にとって必修の講座。ぜひ、ご参加ください。

●在宅サポートセンター生田主催セミナー案内

10.23 (日) 三好春樹さんの「これだけは知っていてほしい介護基礎学」

受講料 3,000 円
定員 50 名



パーキンソン病や脳卒中など、介護職にとって必修のケアを学ぶ

生活リハビリ研究所を主宰する三好春樹さんが、パーキンソン病や脳卒中など、介護職にとって「これだけは知っていてほしいケア」について語ります。この機会に介護の基礎知識を再確認してください。

11.13 (日) 金田センター長の「ボケと認知症ケアの傾向と対策」

受講料 2,000 円
定員 40 名



問題行動を薬で封じる前に、安心生活を支える介護を学ぶ

「ボケる」ということは、認知症という病気にかかることなのでしょうか？ 認知症になったら、何もかも忘れていくのでしょうか？ このセミナーでは、問題行動を薬で封じる前に、認知症となっても安心して暮らせる介護を金田センター長の豊富な経験から学びます。

12.04 (日) 遠藤尚志さんの「失語症とことん勉強会」

受講料 3,000 円
定員 50 名



言葉を失った人は何を求めているのか？ 障害と関わり方を学ぶ

言葉を失った方は何を求めているのでしょうか？ 訓練室の中だけではなく「生活」の中に言語療法を位置づけられた遠藤尚志先生から、失語症という障害の基礎、関わり方のノウハウを学びます。題して「失語症とことん勉強会」。

各セミナーの詳しい開催情報はホームページwww.japan-care.jpをご覧ください。申し込みは、電話044-955-1711またはFax 044-955-1722までご連絡ください。

グ

グループホーム響 自分の身内を預けることができるケアを

運営推進会議で
意見を交換



グループホーム響の運営推進会議がこのほど、当センターで開催されました。会議では、主任より最近のご利用者様のホームでの様子が報告された後、「自分がグループホームで生活するなら、どんな暮らしをしてみたいか、どんな事を希望するか」といったテーマでフリートークが行われました。参加された方からは、「認知症になった自分を想像するのは難しい」といった意見が出されたほか、「言葉だけではなくスキンシップのあるケアがいいね」といった意見も寄せられました。今後も、自分の身内を預けることができるケアを目指すことを参加者全員で確認することができました。

デイサービス響 空き情報

(平成23年9月末現在)

	月	火	水	木	金	土	日
6時間以上8時間未満 定員26人	△	○	○	◎	○	△	休
4時間以上6時間未満 定員4人				○		休	休
入浴	△	△	△	△	△	△	

◎=十分に空きがあります。○=空きがあります。△残りわずかです。空き情報につきましては、△の場合でもご相談ください。

●10月のカレンダー

- 10月01日 ひびき通信 10月号発行
 - 10月13日 出張理美容サービス
 - 10月15日 出張理美容サービス
グループホーム響ケースカンファレンス
 - 10月27日 デイサービス響ケースカンファレンス
- ※今号のシリーズひびきのケアはお休みします。